

50周年記念行事「日本の祭り」

たくさんの笑顔に出会った1日



日本人会イベント部長 板谷和代

2007年、春。日本人会では翌年迎える「日本人会設立50周年」の記念行事を計画するプロジェクトチームを立ち上げました。10月には①日本人会のみんなが参加できる行事、②50年の歴史を振り返ると共に、偶然ウィーンに居合わせた在住者が特別な年と感じられる行事 という2本の柱を決めいろいろなアイデアをブレインストーミング。そして、2008年2月の会合の場で、この「50周年記念誌編纂」と共に日本人学校創立30周年と合同イベントとしての「日本の祭り」の二大プロジェクトを決定。新たに祭り実行プロジェクトチーム（祭りPT）が発足し、サポート軍団と共に準備を開始しました。

とはいえ「日本の祭り」・・・具体的にはどうしたら皆さんに楽しんでいただけるのか？「自分達が楽しい気分で話し合わなければ！」と祭りPTはワイワイガヤガヤとその内容を詰めていきました。そんなときに見つけたお祭り用品販売サイト。早速、ヨーヨー釣りや、金魚すくいセット等を購入し、日本から運びました。また、学校と合同イベントということで会場を学校にしたことにより、綱引きなど豊富な小道具や設備が私たちの企画をどんどん実現に近づかせてくれて、ちょうど開催されていたサッカーの欧州選手権で賑やかなウィーンの街以上とも思える熱気、活気で「日本の祭り」の準備は進みました。また、屋台を出していただくお店との交渉も進み、どんどん祭りらしさが整っていきました。

8月に入ってからは日本人学校に集合しての盆踊りの練習、歌の練習、前夜のヨーヨー作りなど、祭りPTとサポート軍団はいったい何日お祭り気分を過ごしたのでしょうか。そして、ついにやって来た2008年8月30日（土）。早朝に恐る恐る外を見ると・・・ヤッター、晴れ！雨天決行の代替案は用意していたものの、やはり「日本の祭り」は屋外で開催したいと強く願っていたので、実に嬉しい朝でした。さて、次なる心配は、果たして何人のご来場者にお楽しみいただけるのか？祭りPT&サポート軍団一同はドキドキしながら会場である日本人学校に集合しました。



きっとみんなの気持ちに通じたのでしょう。恵まれた天候の下、延べ500名を越えたであろうご来場者には、日本人のみならず、オーストリア人はもちろん他国からウ

ウィーンに来ている方々の姿も。講堂で日本人学校創立30周年式典と記念講演が執り行われる行われるなか、屋台や売店、フリーマーケット、縁日の準備も整いました。12時少し前、威勢のいい和太鼓を合図に「日本の祭り」いよいよ開幕！

田中映男・大使、富士原寛・日本人会会長のご挨拶に続き、日本人学校の児童・生徒の皆さんによる合唱とソーラン踊りが披露され拍手喝采！屋台、売店、フリーマーケットは「え、もう完売ですか？」、「追加発注するのでちょっとお待ちください！」と大盛況。金魚すくい、ヨーヨー釣り、輪投げを楽しむ子供たちの姿は微笑ましく、オーストリア人にはキティちゃんのお面も人気。そんななか、校庭の真ん中では綱引き合戦が始まりました。各チーム、多くの声援を受けて必死の形相。参加8チームの頂点は大使館チームでした。続いてのお楽しみは盆踊りです。祭りPTとサポート軍団が輪の内側で東京音頭と炭坑節のお手本になりました。ふと気付いたら、外側にも大きな大きな輪ができていました。これぞまさに「日本の祭り」の雰囲気です。



校庭会場は、とにかく大賑わい。でも、楽しいお祭りもあつという間に終盤に。会場を講堂に移し、まずは全員じゃんけん大会です。「最初はグー、ジャンケンポーイ！」賞品獲得を目指してみんな必死です。日本人会法人部の皆さまには、綱引き大会やじゃんけん大会の賞品提供、また縁日の準備資金など絶大なるご協力をいただきました。

名残惜しいけれど日本人学校と日本人会のお祝い「日本の祭り」もいよいよお開きの時間が近づいてきました。私たち海外で暮らす日本人の心の歌として「ふるさと」を披露いただき、続いて元気よく「世界に一つだけの花」を全員で大合唱しました。きっとご参加いただいた多くの皆さまの心に残る一曲になってくれることと思います。



☆☆☆

祭りのあと・・・ちょっと寂しいものですが、たくさん笑顔と楽しかった！の声がオーストリア日本人会の新たな歴史の活力になる！そう感じた一日でした。記念すべき50周年の年にウィーンにいられたこと、また、偶然にも同い年の私がこのような日本人会史に残るイベントに関わられたことをとても幸せに思っています。

<板谷 和代 (いたや・かずよ) >

2006～2008年度 日本人会イベント部長、2005年6月～現在、日本航空インターナショナル/ウィーン営業支店長兼 Jalpak International Autira/社長。単身赴任中！